

和光北インター周辺地域 クロスリンク交流会



2026年8月

自己・会社紹介



むらせ こうた
村瀬 光汰

株式会社地域デザインラボさいたま
地域共創ソリューション部

埼玉りそな銀行 地域ビジネス部
担当マネージャー

プロフィール

出身 神奈川県川崎市川崎区
(坂戸市育ち・川越市在住)
年齢 1993年生まれ (32歳)
家族 妻長女 長男

経歴

～2002年 坂戸市立坂戸小・中学校 卒
2012年 埼玉県立松山高校 卒
2016年 明治大学政治経済学部 卒
2016年 埼玉りそな銀行入社・和光支店(融資・法人営業)
2018年 岩槻支店(法人営業・融資)
2021年 地域ビジネス部(新会社設立準備業務)
2021年 地域デザインラボさいたま 出向

これまでのまちづくり経験

- ① 河川利活用の事業企画・支援
(飯能市・日高市・越谷市・羽生市・上里町)
- ② 中間支援組織の支援
(まちづくり会社・観光協会等)
- ③ 観光地域づくり支援
(経営企画策定・業務効率化支援・観光コンテンツ造成)
- ④ 公有不動産の利活用検討支援

商 号	株式会社地域デザインラボさいたま (愛称:ラボたま)
本社所在地	埼玉県さいたま市浦和区常盤7-4-1
資 本 金	100百万円
株 主 構 成	株式会社埼玉りそな銀行100%
従 業 員 数	24名 (常勤)
設 立 日	2021年10月1日

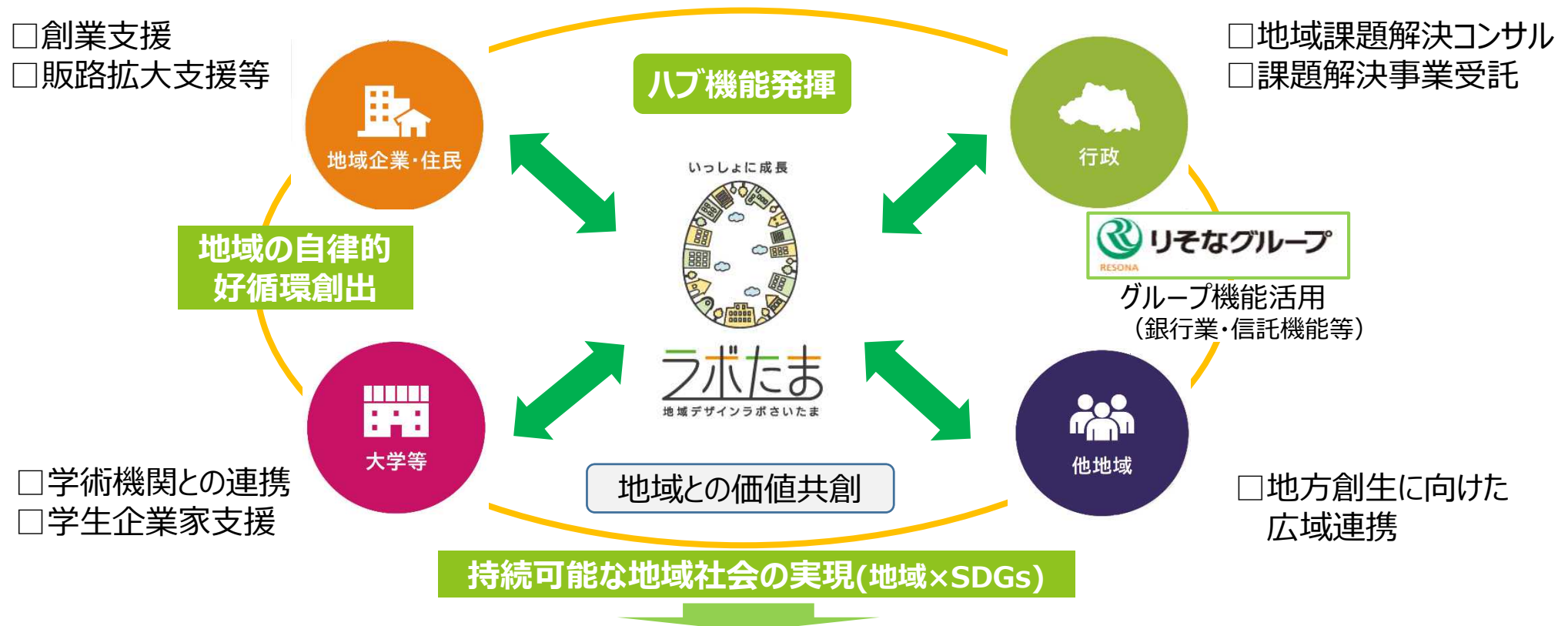
【社名の由来】

埼玉県のこまりごとをデザイン思考で解決していく事業会社として、各地域オンリーワンの色を出し、埼玉県の魅力・彩りを高めていく価値共創の拠点（ラボ）であることを意味しています。地元「さいたま」のための事業会社として埼玉りそな銀行の目指す姿である、「地元埼玉とともに発展する企業」の実現に向け、埼玉りそな銀行と共に挑戦してまいります。



- ☐ 創業支援
- ☐ 販路拡大支援等

- ☐ 地域課題解決コンサル
- ☐ 課題解決事業受託



「日本一暮らしやすい埼玉県」の実現 『地域 x SDGs』

埼玉県では本格的な人口減少局面を迎え、社会課題が一層複雑化する中、ラボたまの提供価値である「**まちの好循環創出**」、「**暮らしの安心創出**」、「**新たな産業創出**」、「**地域の魅力創出**」を通じ、『**活力溢れる持続可能な地域社会**』を目指すことで、『**日本一暮らしやすい埼玉**』の実現に貢献してまいります

人口減少時代における
活力溢れる持続可能な地域社会を目指して

都内等から
の人口流入

都内等から
の人口流入

まちづくりの 好循環創出

公民共創によるエリアデザイン
を通じ、まちの好循環を創出

暮らしの安心創出

空き家対策や過疎地のデジタル化
等の社会資本整備を通じ、
暮らしの安心を創出

"埼玉をもっと元気に"

～ 活力溢れる持続可能な地域社会へ～

新たな産業創出

生産年齢人口が減少する中、
将来性溢れる新たな産業を創出

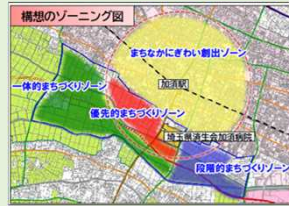
地域の魅力創出

伝統・文化を掘起こし、国内外
に発信することで埼玉県の
魅力を創出

『**日本一暮らしやすい埼玉**』の実現

ラボたまの事業領域

まちづくり分野・PPP/PFI活用促進



中心市街地や都市全体 / 一部、農村部、民間私有地等のランドデザインや計画策定・実行・運営の一貫支援など



公共 / 民間施設の事業計画～基本構想・計画～設計の伴走支援、実施チーム組成・住民の合意形成・エリアマネジメント支援など

産業創出支援・りそなコエドテラス運営



起業家と地域の共創を目指したビジネスコンテスト、官民連携事業の実現に向けたピッチイベント開催や伴走支援など



産業創出・育成支援や地域の魅力を伝える川越、埼玉のブランディング拠点として地域活性化をミッションとした「りそなコエドテラス」（旧川越支店）R6.5.15オープン

観光・河川利活用コンサル



地域事業者・観光協会等と連携した観光体験事業の造成や誘客、河川・水辺の賑わい創出、オーバーツーリズム対策等

空き家対策支援



放置空き家の発生抑制や、空き家の新たな利活用等による自治体・地域の空き家対策支援

地域DX

中小企業のIT・DX化支援を通じた過疎地域の課題解決に向けた取り組み（地域おこし協力隊の活用）

環境・SDGs

持続可能なまちづくりに向けて、企業のSDGsや脱炭素への取り組みを後押しする座組の形成支援など

その他

企業版ふるさと納税支援

これから取り組みたいこと

役立てたいこと

官民連携事業の経験

まちづくりに関する各分野における事業経験や、まちづくり会社等地域主体の体制づくりに関する仕掛け・事業化の経験

長期伴走力

地域の課題や魅力、特徴を発掘し、エリアビジョンの策定から実証企画、事業化、自走化まで一気通貫で協業

りそなグループのつながり

埼玉りそな銀行が持つ自治体や民間事業者、団体、住民、学校など様々な立場の関係者との密接なつながりを活用

取組んでいきたいこと

1

まちづくりキーパーソンの組織化

自治体や関係者の合意形成を通じた官民連携で事業に取り組む組織づくり

2

地域が主役のまちづくり事業実装

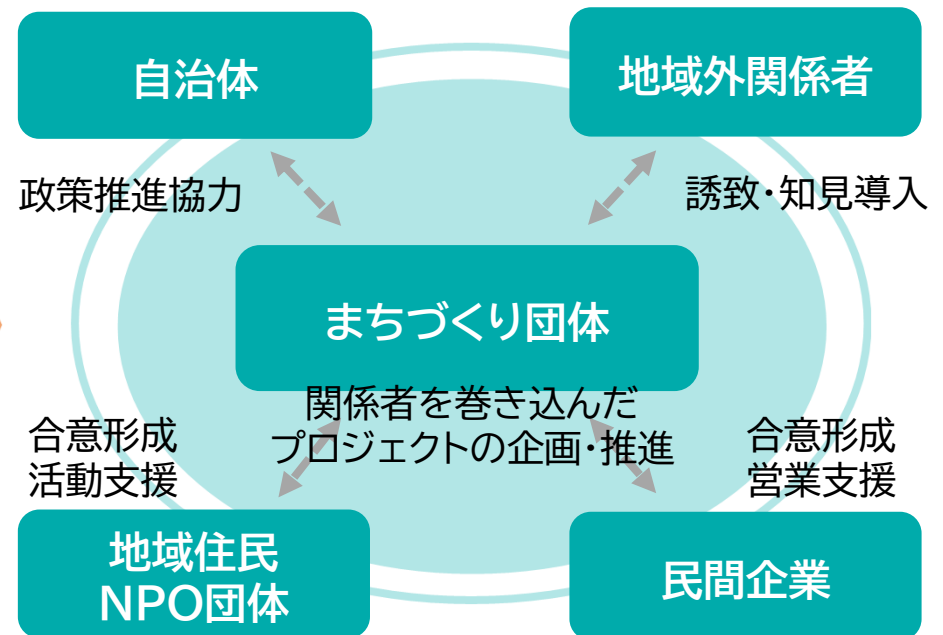
地域の出身や関係する人々の利益になる事業企画の立案

3

自主性をもち自走可能な体制づくり

自ら必要な施策を企画立案・調整できる能力の強化と必要なる財源づくり

関係者の力を結集して
イノベーション×ウェルネスなまちづくりを実現



テーマ:まちづくりにかける思い・アイデアの実現